

## ④ マネー・ローンダリング

お金や暮らしの知恵を学びましょう！



銀行で口座を作ろうとしたら、身分証やら口座を作る理由やら、色々確認があって大変だった！  
昔はこんなに確認されなかったのに…  
面倒だからなんとかならないものか。

金融機関で手続きをした際、このように感じたことはありませんか？

口座を作ろうとした際や、多額の現金を振り込もうとした際に、本人確認書類（免許証等）の提示を求められたり、取引の目的（何のために口座を作るのかなど）を確認されたりする場合があります。

確認される項目が増えると時間がかかるし、記入する用紙も多くなりますので、煩わしく感じてしまうかもしれません。なぜこんなに色々確認が求められるのでしょうか。

マネー・ローンダリング対策と、顧客の預貯金を守るため、「犯罪による収益の移転防止に関する法律」で本人確認等が義務付けられています。

ご協力をお願いいたします。



マネー・ローンダリングとは、犯罪によって得た収益を、他人名義の口座へ入金するなどの方法を使って出所が分からないようにして、捜査機関による収益の発見や検挙を逃れようとする行為です。顧客の口座や預金が犯罪組織に流れたり、マネー・ローンダリングに使われてしまったりすることを防ぐため、金融機関には、本人確認の義務が課せられています。

日本は対策が遅れていると言われていますが、現在、金融機関では、マネロン対策を強化しており、手紙やハガキなどでも顧客情報の定期的な確認を行っています。皆様の大切な預貯金を守るためにも、ご協力をお願いします。



ただし、金融機関を装って、個人情報や口座番号などを聞き出そうとする犯罪（フィッシング詐欺）にはくれぐれもご注意ください。